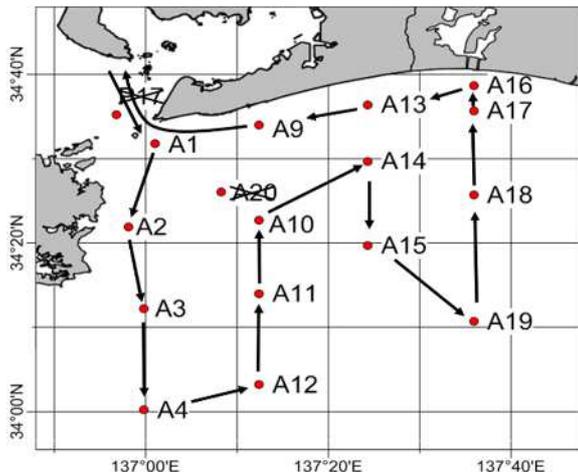


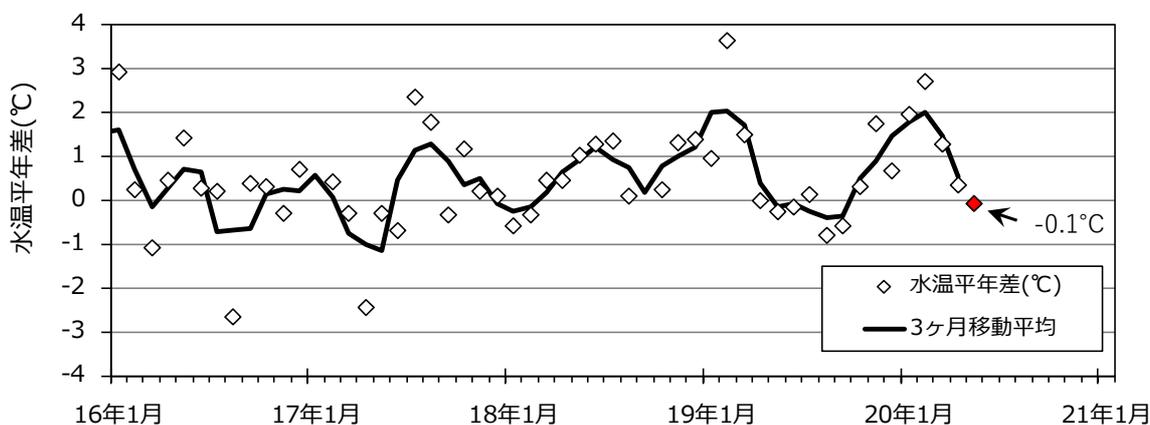
【水温の変動】

5月12、13日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部では平年並み、沖合域では平年差+1.9℃で高めでした。

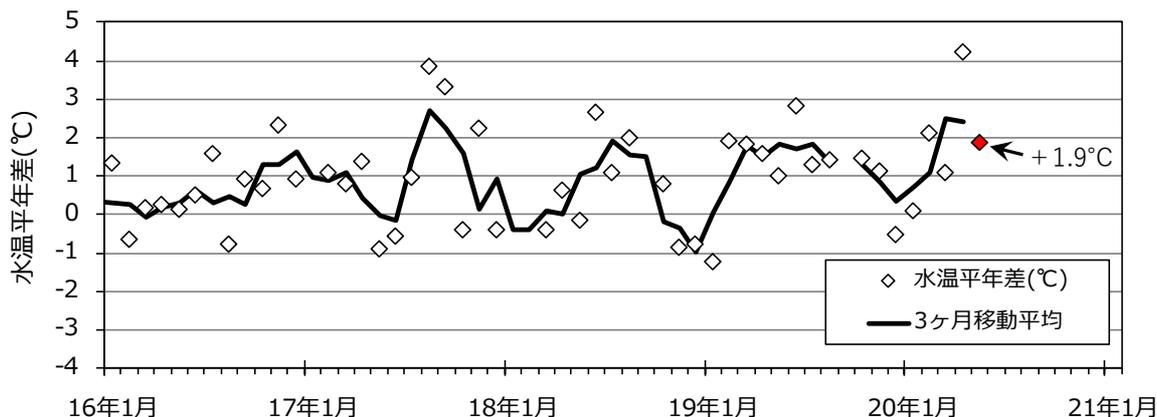
衛星画像によると、黒潮は潮岬沖で大きく離岸し、北緯30度付近まで南下した後、遠州灘沖をS字状に北上し、房総半島沖を流れています。黒潮流路の接近で渥美外海沖合では高温傾向が続いています。



湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で17.1~21.5℃、水深100mで16.6~17.5℃、200mで12.8~14.2℃となっていました。水温は沿岸域で低く、沖合域で高くなっています。沿岸域と沖合域で1~4℃の差があり、黒潮が遠州灘沖を流れているためと考えられます。水温の鉛直断面図を見ると、等温線が水深によって傾きが異なっており、顕著な流れはない模様です。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度の鉛直断面図

